

## 予算決算委員会 厚生分科会 分科会長報告

厚生分科会に委嘱になりました部分について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

議案第2号令和3年度横手市一般会計補正予算（第11号）について、主な質疑と答弁を申し上げますと、歳出3款民生費、保育士等処遇改善臨時特例事業について、「支給対象者数は把握できているのか」との質疑に対し、当局より、「各施設への給付費の支払い事務において職員数を把握しており、保育所、幼稚園、認定こども園、特定地域型保育事業所を合わせて750人ほどと見込んでいる。今後、申請の段階で事業計画書により詳細な数値を報告していただくことになる」との答弁がありました。

また、「施設に支払われた補助金が対象者にきちんと行き渡るようなチェック体制をとってほしいが、どう考えているか」との質疑に対し、当局より、「各施設から実績報告を提出していただく際に、給与規程や賃金台帳等により、しっかりとチェックする体制としたい」との答弁がありました。このほか、「公立施設の対応」や「市の会計年度任用職員の処遇改善」、「令和4年10月以降の事業延長」についての質疑がありました。

本案について討論はなく、起立採決の結果、起立全員により、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上をもちまして、報告を終わります。

よろしくご審議の程お願いいたします。

## 予算決算委員会 産業建設分科会 分科会長報告

産業建設分科会に委嘱になりました部分について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

議案第2号令和3年度横手市一般会計補正予算（第11号）について、主な質疑と答弁を申し上げますと、歳出6款農林水産業費では、「今回の補正予算に一般財源を投入しているが、後で財源振替は行うのか」との質疑に対し、当局より、「今回は繰越事業もあり、国のコロナ交付金を全額有効活用するためにもすべての事業に満遍なく振り分けている。今のところ、残りの部分はそのまま一般財源で行う予定である」との答弁がありました。

また「米価下落について、来年度に好転する見込みは、恐らくないというのが全国の傾向である。横手市は農業を中心に街づくりをしていくという総合計画に基づいて政策を打ち出しているが、実施するためには一般財源がないとやっていけない。今回、来年度事業へ繰り越す予算があり、これから令和4年度の当初予算で様々な提案があると思うが、その財源は充分であるのかどうか」との質疑に対し、当局より、「米価下落や資材高騰により、ますます農業経営自体が厳しくなっていく状況にあると認識している。5年、10年先、農業従事者の高齢化も含めて、どういふふうなビジョンをもちながらやっていかなければならないかというのは常に考えており、それを見越した形で制度設計をしていきたい」との答弁がありました。

これについて委員より、「これまでも農林部が創設した災害対策基金があり、事実上枯渇している。農業を中心とした街づくりを進めるためには、一般財源の確保は欠かせないものであり、今回の提案のように国の交付金をあてにするだけでなく、農業振興基金を創設するなどの様々な事業を進めていく必要があると考える。目標、理念があるにも関わらず裏付けとなる予算がほとんどないというのは、危機感を覚えるものであるため、ぜひ、予算の確保を求めたい」との意見がありました。

本案について討論はなく、起立採決の結果、起立全員により原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上をもちまして、報告を終わります。  
よろしくご審議の程お願いいたします。

## 予算決算委員会 総務文教分科会 分科会長報告

総務文教分科会に委嘱になりました部分について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

議案第2号令和3年度横手市一般会計補正予算（第11号）について、歳入では、「財政調整基金の繰入れに対する考え方」や「新型コロナウイルス感染症に係る国の対応についての今後の見通し」について、質疑がありました。

本案について討論はなく、起立採決の結果、出席者起立全員により、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上をもちまして、報告を終わります。  
よろしくご審議の程お願いいたします。